

最優秀賞 (個人)

鶴田 義明(全市)

自然との触れ合いを大事にした 自然体験学習

子どもたちに、五感を使って自然と触れ合う楽しい体験を提供し、自然や命あるものを大切にする心を育みたいとの思いから活動を開始。福岡市環境局が実施する「環境わくわく出前授業」の講師に登録し、ゲストティーチャーとして保育園や小学校に出向き自然体験学習を長年実施しています。保育園では自然体験活動の手法であるネイチャーゲームを主に実施し、小学校では、対象年齢、人数、フィールドのポテンシャルなどを考慮したプログラムを自ら作成し取り組んでいます。「知る」ことより「感じる」ことを大事にした講座は、子どもたちに大人気で、今まで50校以上で実施し、感想文やサンキューレターは7,000通を超えています。



最優秀賞 (団体)

石坂子ども会育成会(東区)

地域の清掃と元気いっぱいの 廃品回収を長年継続

子ども会活動の一環で、公園と集会所の定期的な清掃と除草作業、廃品回収を30年近く継続して実施しています。廃品回収では、荷出しが困難な高齢者宅に個別に訪問し回収のお手伝いも積極的に行っています。元気いっぱいの子どもの訪問を毎月楽しみにしている高齢者の方々も多く、子どもたちも、直接「ありがとう」との言葉をもらい、喜びとやりがいを感じる活動になっています。地域のリサイクル促進や環境美化に寄与する活動と同時に、廃品回収を通して、地域住民とのふれあいやコミュニケーションの場にもなっています。



最優秀賞 (学校)

キッズ・キッズ保育園(博多区)

子どもたちが参加でき 未来につながる環境活動

「子どもたちの未来につながる事ができないか」「子どもたちと一緒に、地域の方々と一緒に、子どもたちの未来がより良い環境になるためにできる事を始めてみよう」という考えから、日々の生活の中で園児と共にできる「花を植えて育てる事」を始めました。市内各所にある園の近隣公園や緑地等を借り、保護者や地域の方々と協力しながらお花やサツマイモなどを植える活動に取り組んでいます。また、「子どもたちが参加できるSDGs」という観点から、使い捨てカイロやペットボトルキャップの回収も行っており、社会貢献することの喜びや自分たちを取り巻く環境の大切さなどを学ぶ機会となっています。また、子どもたちだけでなく、子どもたちが発信するSDGsや環境保全活動が周りの大人たちにもよい影響を与えている取り組みになっています。



最優秀賞 (事業者)

トヨタカローラ福岡株式会社(早良区)

水源かん養林の整備や苗植え・ 収穫体験会などの環境保全活動

福岡市水道局所有の水源林で継続的な森林保全活動を実施しています。「福岡市水源の森づくり共働事業」の第1号企業として、12年間活動を継続的に行い、水源かん養林の整備として荒地の開拓や広葉樹の植樹、下草刈り、伐竹作業を実施。現在は今まで蓄積したノウハウや技術力を活かし、他の企業へのアドバイスも行っています。また、社員やその家族を対象に苗植え・収穫体験会を開催するほか、河川敷の手入れや会社周辺の清掃に取り組むなど、環境保全活動に取り組んでいます。

